

科目名 科目コード	看護総合演習 410	必修科目	4年次 2学期	講義	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 原 頼子				
科目担当者	医学部看護学科 森本 紀巳子、田中 佳代、古村 美津代、舞弓 京子、加悦 美恵、佐藤 祐佳、 椛 勇三郎、加藤 陽子、平原 直子、河原田 康貴、宮本 いずみ、姜 旻廷、水落 裕美、 中山 麻由、松本 まなみ、立石 麻梨子、臼井 麻里子、専任教員3名				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 看護総合演習では、臨地実習で未履修の技術及び身体侵襲を伴う技術について自己の課題を明確にし、演習を行なうことで、看護実践能力の向上を目指す。</p> <p>2) 自らの看護技術を向上させるための学習方法を見出し、生涯自己研鑽を続けることの必要性を再認識し、看護を追求する態度を育成する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 技術の水準レベルを踏まえ、既習の看護技術を振り返り、自己の課題を明確に述べることができる。</p> <p>2) 事例の状況に応じ、優先順位や安全に留意した援助計画の立案ができ、演習につなげることができる。</p> <p>3) 根拠に基づき、看護技術を選択し、技術を統合させ、的確に実践するための過程を述べるができる。</p>				
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、</p> <p>第2～5回 事例のアセスメントと、身体観察技術、日常生活を支える技術 観察技術（フィジカルアセスメント） 排泄を整える技術(膀胱留置カテーテル) 呼吸・循環を整える技術（口腔内吸引・気管内吸引） 看護過程 原、加藤、河原田、水落、立石、臼井、専任教員1名【講義・演習】</p> <p>第6～9回 事例のアセスメントと、身体観察技術、日常生活を支える技術 観察技術（フィジカルアセスメント） 排泄を整える技術(膀胱留置カテーテル) 呼吸・循環を整える技術（口腔内吸引・気管内吸引） 看護過程 原、加藤、河原田、水落、立石、臼井、専任教員1名【講義・演習】</p> <p>第10～12回 診療の援助における看護の知識と技術 薬物療法の技術(採血・輸液の技術) 科目担当者全員【講義・演習】</p> <p>第13～15回 患者の状態に合わせて、的確に看護技術を選択し、実践し、評価する統合能力 人間関係を形成し、看護援助を計画的に実践・評価する技術 原、古村、加悦、姜、専任教員2名【講義・演習】</p>				
テキスト	特定しないが、参考資料を配布する。				
参考書	猪又克子監修：Photo&Movie 臨床看護技術パーフェクトナビ、学研 阿曾洋子、井上智子、氏家幸子：基礎看護技術 第7版、医学書院 三上列、小松万喜子：基礎看護技術、ヌーヴェルヒロカワ その他適宜紹介する				
評価方法	筆記・技術試験 50%、レポート 20%、演習の出席状況（原則として3/4以上）および態度 30%				
授業にむけての準備学習	総合実習終了後に、ポートフォリオに基づき、4年間の実習(技術項目)の振り返りを行い、自己の課題を明確にして参加して下さい。				

